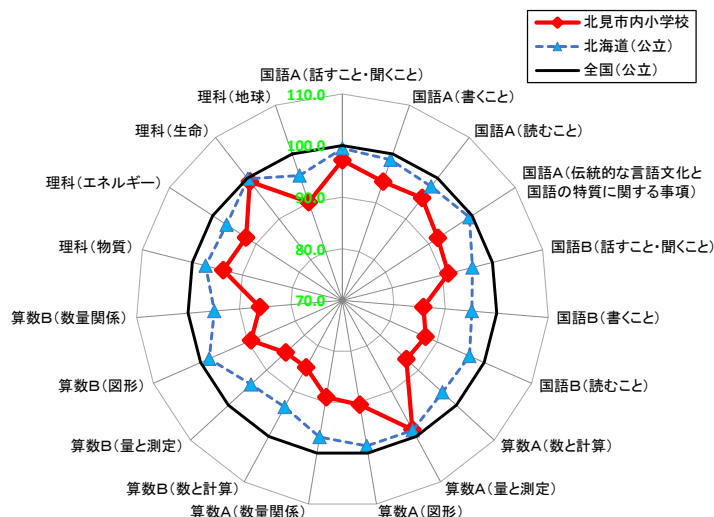


■北見市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:24校、児童数:846人)

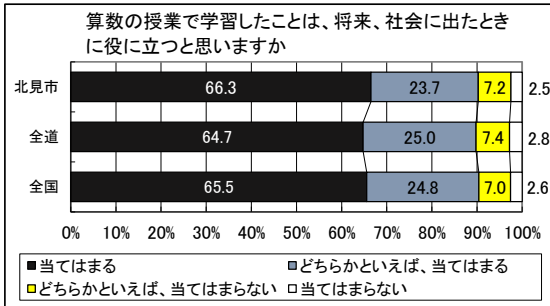
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

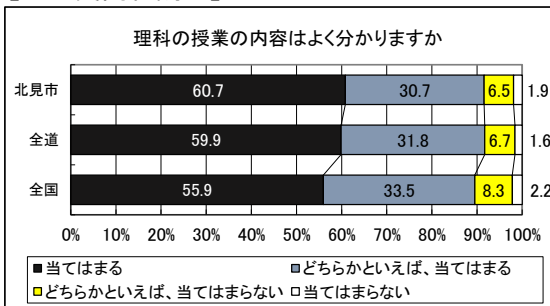
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



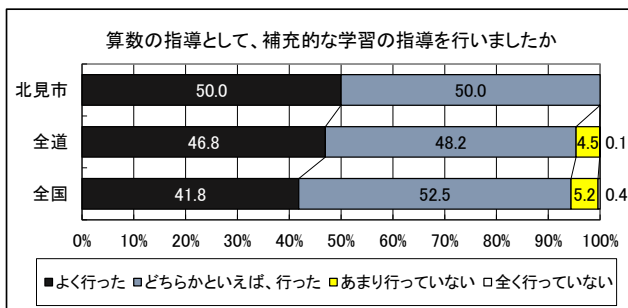
【児童質問紙調査】



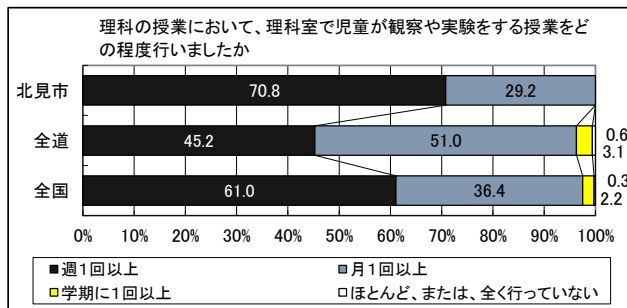
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」で全国とほぼ同様になっている。	○ 算数の指導として、補充的な学習を行うなど、個に応じた指導の充実を図ったことにより、児童の学習意欲が向上し、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 理科の授業において、理科室で児童が観察や実験をする授業を週1回以上行ったことにより、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が進み、「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の授業において、理科室で児童が観察や実験をする授業を週1回以上行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【北見市の学力向上策】

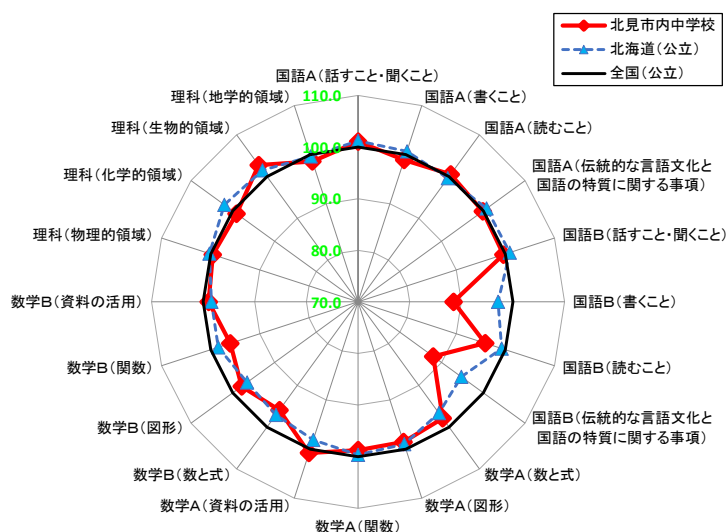
- ◎ 「北見市学力向上3つのスタンダード」(学習環境をつくる・指導技術をみがく・指導方法を工夫する)の取組の推進
- ◎ ICT(実物投影機・デジタルテレビ)の活用による分かりやすい授業づくりの推進
- ◎ 教職員の授業力・指導力向上に向けた指導力向上推進事業等の研修会の実施
- ◎ 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣づくりの取組

■北見市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:14校、生徒数:893人)

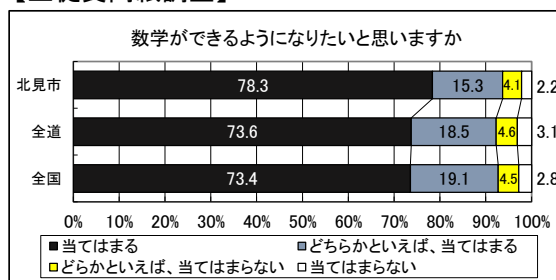
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

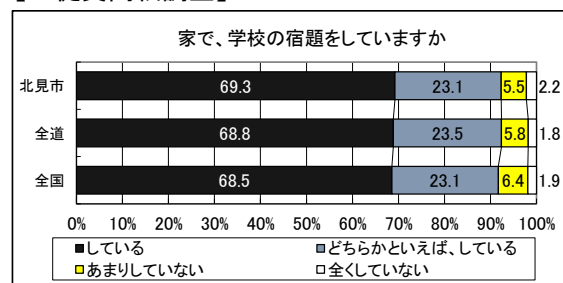
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



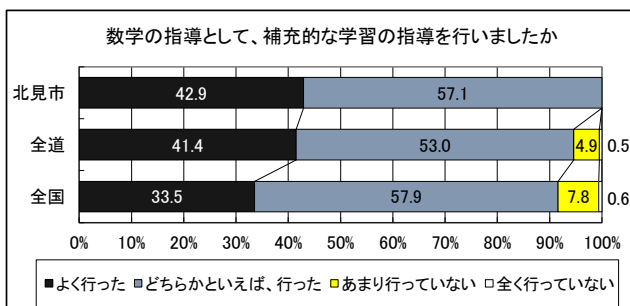
【生徒質問紙調査】



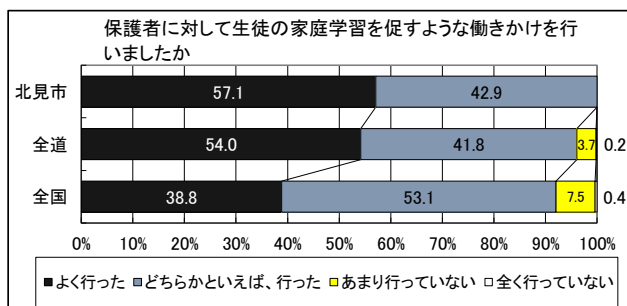
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。	○ 保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行ったことにより、家で、学校の宿題に取り組むなど、家庭学習の習慣の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学ができるようになりたい」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 数学の指導として、補的な学習を行うなど、個に応じた指導の充実を図ったことにより、生徒の学習意欲が向上し、「数学ができるようになりたい」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「数学の指導として、補的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【北見市の学力向上策】

- ◎ 「北見市学力向上3つのスタンダード」(学習環境をつくる・指導技術をみがく・指導方法を工夫する)の取組の推進
- ◎ ICT(実物投影機・デジタルテレビ)の活用による分かりやすい授業づくりの推進
- ◎ 教職員の授業力・指導力向上に向けた指導力向上推進事業等の研修会の実施
- ◎ 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣づくりの取組